

Renews

～リニュース～

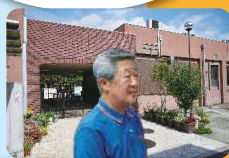


生ごみ処理機でゴミ減量！

豊中市ではごみ処理機を設置される事業者を対象に補助金を交付する制度を実施しています。今回、その制度を利用された二つの事業者を取材させていただきました。消滅型、堆肥型と異なるタイプのものを設置されていますのでご紹介します。



はじめに、消滅型の生ごみ処理機を導入された『夢工房 認定こども園 夢の鳥』の山田園長にお話を伺いました。



山田園長



夢工房 認定こども園 夢の鳥

導入のきっかけとなったのは、SDGsについてどんな取り組みができるのかを考えていたところ、補助金制度を目にしたことです。

月に出る生ごみは50キロ程度。導入以前は調理に携わる職員が水切りをし、臭いがでないよう袋詰めする作業がありましたが、導入後は水切り後、機械に投入するだけなので職員の負担は軽減されています。

みなさんが心配されている音や臭いもほとんどなく、虫も発生しませんし、肥料としても利用できます。

メンテナンスは年に3回程度、専門業者に依頼しています。

夢の鳥では、生ごみ処理機以外にも太陽光発電と蓄電池を導入されています。

園内の電力を賄うだけでなく、災害時には地域住民も利用できるよう設備を整えています。

将来的には提供できる電力量を増やすため、蓄電池の増設も考えているそうです。また、生ごみ処理機からできた液体肥料も地域住民に還元していきたいと話されていました。地域住民に必要とされることが大切だという考えは素晴らしいですね。



消滅型生ごみ処理機と蓄電池



調理くずや食べ残しを投入!!



液体となり排出(肥料にもなる)



こどもたちが視覚的にわかりやすいように発電量などの情報を表示している



屋上に設置された太陽光パネル



災害時に地域住民も利用できる電力

【バックナンバーについて】

「Renews」はバックナンバーも含め市ホームページからもご覧いただけます。



【発行】 豊中市 環境指導課 一般廃棄物指導係 TEL06-6858-2278

Mail kansidou@city.toyonaka.osaka.jp

【協力】 豊中商工会議所

次に堆肥型の生ごみ処理機を導入された『社会福祉法人 しらゆり会 認定こども園 さくらづか保育園』の村上園長にお話を伺いました。



村上園長



社会福祉法人 しらゆり会
認定こども園さくらづか保育園



堆肥型生ごみ処理機

導入のきっかけは、食材の廃棄部分や食べ残し等も堆肥化され、食材として再びこどもたちに還元されるということを実際に見て学んでほしいという思いと、地球にやさしい取組みをすることがこどもたちの財産になると考えたからです。

月に出る生ごみは60キロ程度。生ごみを投入後、攪拌され、約24時間で良質の堆肥ができます。その堆肥で野菜や花を育てることで、こどもたちの学びにつながっています。

音や臭いは若干、気にはなりますが、こどもたちが嫌がるほどではないですね。ただ、処理機の周りには少し虫が増えたかなと感じます。

二週間から一ヶ月に一度、量を一定にする為に、堆肥を取り出す作業がありますが、肥料を購入し、運搬することを考えたら手間ではないですね。



堆肥を使用した樹木

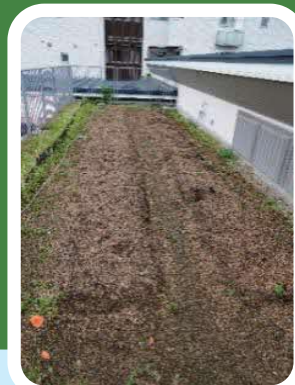


週に一度消臭装置に水を入れる



攪拌され24時間後、堆肥になる

災害時のことを考えると、太陽光発電や蓄電池の導入も考えていきたいと村上園長は話されていました。



堆肥を使用した畑

どちらのこども園もこどもたちの未来を見据えて取り組まれていることがうかがえます。目先のことだけ考えるのではなく、こどもたちの豊かな未来へとつながるために私たち大人に何ができるかを問われているのではないのでしょうか。



**令和6年度
補助対象が拡大！**

**ごみ処理機設置事業者に
補助金を交付します**

3つのメリット

- 廃棄コスト削減
- CO₂削減
- 衛生面の改善

最大200万円補助

※対象となる事業者は、自治体等に指定された事業者です。
※対象となる機器は、生ごみ処理機（堆肥型）です。
※補助金の交付は、生ごみ処理機の設置完了後に行われます。

詳しくは、各自治体の環境課までお問い合わせください。

事業系ごみ処理機設置にかかる費用の補助金交付制度について

今年度から補助の対象機器が生ごみだけでなく、おむつなどの一般廃棄物が処理できる機器に拡大しました。

生ごみやおむつ等の一般廃棄物を発酵、加熱、乾燥等で分解し、減量、消滅、堆肥化することが可能（減容率80%以上）なものが対象です。（ディスポーザーは不可）

ごみ処理機補助金の案内について詳細はこちら

